



子どもの人権を尊重し育む人間市を目指し

子どもの権利条例の制定を

日本が批准している子どもの権利条約では、子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」が保障されています。しかし日本は、国連から多くの勧告を受けており、その取り組みが遅れている現状にあります。

参加する権利を保障する取り組み

先進的な自治体では「子どもの権利条例」を制定し、子どもの権利を保障する様々な取り組みが進められています。(表1)

北海道奈井江町では町の合併の是非を問う住民投票に、小学校5年生以上の子どもを対象にした「子ども投票」を実施。「子ども投票」は大人の投票率を上回る投票結果となり、子どもの「参加する権利」を保障するものとなりました。

私は、子どもの権利について人間市の現状や取り組みを質しましたが、答弁を

子どもの権利条例を制定した自治体
北海道奈井江町、札幌市、川崎市、多治見市など
条例を制定した自治体の取り組み
●子どもの実態調査(アンケート調査)
●子ども議会・子ども会議の設置
●子ども向け広報やホームページの充実
●子どもの相談・救済機関の設置
●子どもの権利委員会の設置
●児童館等に子ども運営委員会を設置
この他、子どもに関する施策を計画に基づき推進

聞いても「子どもの参加する権利」の取り組みが遅れています。私が、「子どもの権利条例を制定し、権利保障の取り組みを進めるべき」と質したのに対し、福祉部長は、「条例を制定するつもりはない」というとても残念な答弁に終始しました。

日本の子どもの自己肯定感の低さやいじめが問題になっています。子どもの権利が守られれば、子どもたちは「自分は大事にされている」ことを実感できます。そのことで自己肯定感を高め、他人の人権も大事にすることができます。行政として、子どもの人権を大切にする取り組みをもっと進めるべきです。



難聴者支援「磁気ループ」の導入を

難聴者の補聴システム「磁気ループ」は各自治体で導入が進められています。私は、「公共施設の会議室や窓口への設置、移動式ループの貸し出し事業を始めるべき」と求めました。これに対し福祉部長は「色々と課題があり、研究・検討していきたい」との答弁に留まりました。

「聞こえ」の支援は、難聴者の活動の支援や楽しみの発見にもつながります。人間市でも積極的に導入を進めるべきです。

日本共産党 市議会議員 **吉沢かつら**

フレッシュレポート No.29 2012年秋号

みなさん、いかがお過ごしですか。私は「消費税増税を中止させるためにご協力下さい」と署名のお願いや消費税に頼らない財源論をご説明し、地域のご家庭を訪問させて頂いています。多くの方から「増税は困る」とのご意見を頂き、増税ストップを必ず実現しようと改めて決意しているところです。みなさんのご支援をよろしくお願いします。

ホームページ見てね!



日本共産党人間市議団のホームページをご覧ください。吉沢かつらのページは毎日更新中です!

霞川の放射能対策を市に要望

私は、共産党豊岡後援会のみなさんと一緒に新霞橋～豊高橋の河川敷の放射能測定を定期的に行ってきました。そのなかの1箇所から地上5cmで0.23マイクロシーベルトを超える値が出ました。(豊高橋近くの側溝の水が溜まる場所) この場合、人間市の独自基準では「カラーコーン等で囲いをするとともに看板等で警告

放射線量測定結果			
	地上5cm	地上50cm	地上100cm
6月10日	0.243	0.179	0.121
7月10日	0.258	0.182	0.125
8月21日	0.296	0.195	0.142
9月28日	0.238	0.192	0.130

し、監視を継続する」となっています。しかし、この場所は河川敷で県の管轄とのこと。市から県に報告しましたが、「県の基準からすると問題ない」とのことに対応してもらえませんでした。

そこで、「県が無理なら、市に対応してもらえないか」ということになり、後援会とともに市の基準に基づく対応をしてほしい旨の要望書を提出しました。

市民からすると、県の管轄であろうが市の管轄であろうが、同じ地域の生活空間です。市民の安心・安全を優先し、県や市の柔軟な対応を期待しています。

人間市駅で宣伝を行っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい

1500人あまりの陳情・請願

第3回定例議会

給食放射能検査の願い趣旨採択に

市から提出された議案のうち、共産党は「西部消防組合の設立に伴う関係条例の整理に関する条例」のみに反対しました。

消防広域化は、藤沢分署のはしご車が削減されるなど地域の消防力を低下させるとともに入間市の財政負担が増加することが明らかになっています。

給食検査の充実で安全を

今議会には、「入間市の学校給食を放射能から守るための施策に関する請願」が提出され、同趣旨の陳情書も「子どもを守る会いるま」から1500人余りの署名を添えて提出されました。

学校給食センターで調理される中学校

の給食は、一週間分を、県の調査機関に委託して週に一度調べていますが、自校給食式の小学校では一食材の検査にとどまっています。こうした状況に市内の保護者から、学校給食の検査の充実を求める声が高まっています。この声を反映して「学校給食をもっとしっかり検査してほしい」等の項目を掲げた請願です。

共産党からは石田よしお議員、吉沢かつら議員が紹介議員となり、福祉教育常任委員会で審議されました。

共産党は請願採択を主張

この請願に対し、保守系クラブが、「現状の調査で安全性は確保されている」

との立場から、実効性を弱める趣旨採択を提案しました。

共産党市議団は、市民の要望に応え、安道よしこ議員が請願に賛成の討論を行い、採択に力を尽くしました。しかし、他党派は請願採択に反対し趣旨採択にしました。

共産党市議団は、これまでも子どもの食の安全を確保する立場から、給食食材の放射能検査の充実を議会で求めてきました。

今後も市民と協力し、子どもの健康を守るため給食検査の充実を求めます。



共産党市議団が市民の声を積極的に提案

墜落事故を繰り返しているオスプレイの配備で、横田基地空域にある入間市が危険に。「オスプレイ配備反対の意見書」を提案しましたが、全会派の合意は得られませんでした。

市民要望の強い「子ども医療費(通院)の中学卒業までの無料化促進を求める決議」も提案。保守系会派の賛成は得られたものの、公明党とみらい市民クラブの反対で決議の提案は実現しませんでした。

決算審査意見に10項目提案し採択

- ・河川の放射能汚染調査結果もHP公表
- ・清掃デー不参加者への負担金廃止を
- ・道路整備は市民要望に応え予算措置を
- ・昭和56年以前の木造住宅耐震化の実施
- ・武蔵藤沢駅ロータリーの渋滞対策を
- ・子ども医療費は通院も中卒まで無料に
- ・夜間診療所は開所時間の拡大を
- ・教室にエアコン設置・少人数学級実現
- ・地域包括支援センターの職員増員を



学校給食センター

一週間分をまとめて放射能検査している給食センターの給食と同じように、自校給食でも検査の充実が求められる。

消費増税なしで別の道

日本共産党は消費税増税に反対するだけでなく、別の道で財源を確保する具体的な対案を示しています。

不要不急の大型公共事業の見直し、米軍への「思いやり」予算や政党助成金の廃止など聖域のないムダ削減で3.5兆円、お金をため込んでいる大企業や富裕層への増税で8~11兆円を確保することができます。

増税実施までの1年半の間に行われる総選挙、参議院選挙で国民が「増税ノー」の審判を下せば増税をやめさせることができます。国民の世論と力で消費税をストップさせましょう。

共産党議員の一般質問

- 石田よしお議員
核廃絶署名、戦後の近隣飛行機事故
小出わたる議員
消費税増税反対、教室にエアコンを
安道よし子議員
少人数学級実現、放射能検査機器整備
吉沢かつら議員
子どもの権利条例制定、磁気ループ

日本共産党市議会報告

2012年11月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

- 石田よしお 2964-4048 070(5086)2075
安道よし子 2962-8082 090(4811)0553
吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077
小出わたる 2932-7884 090(6542)3883